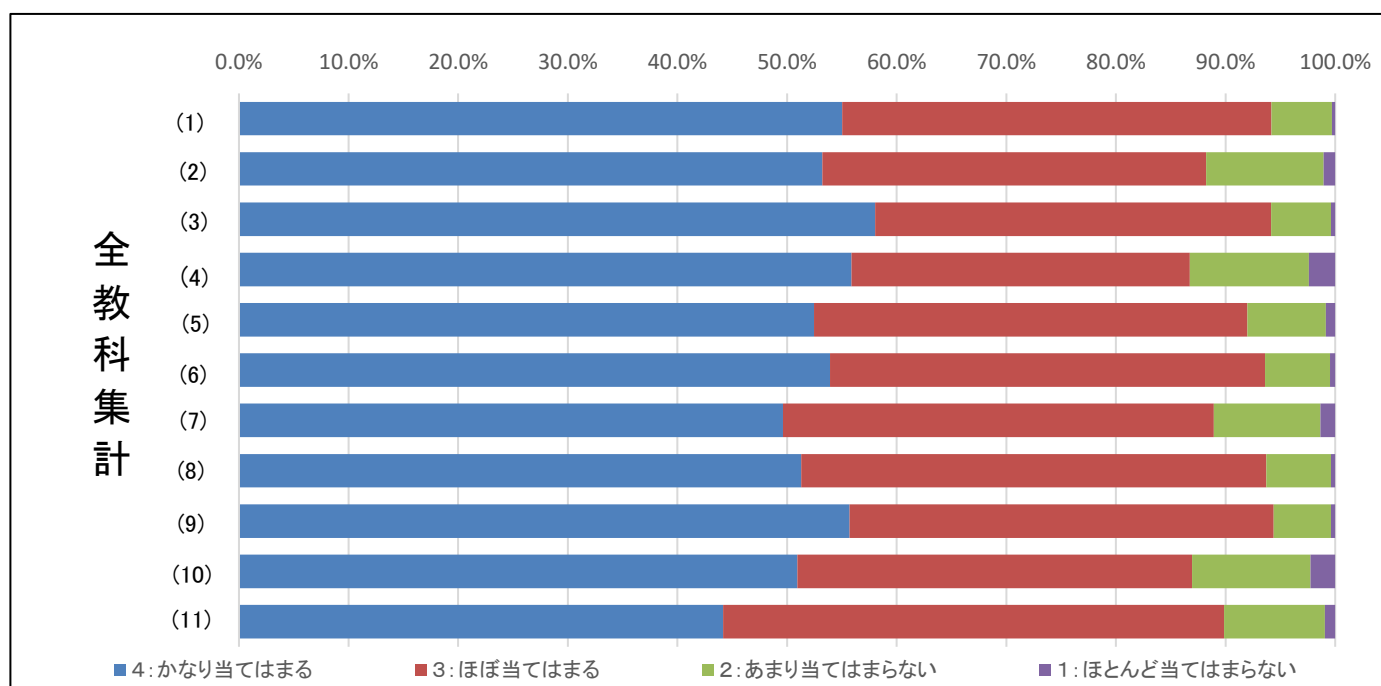
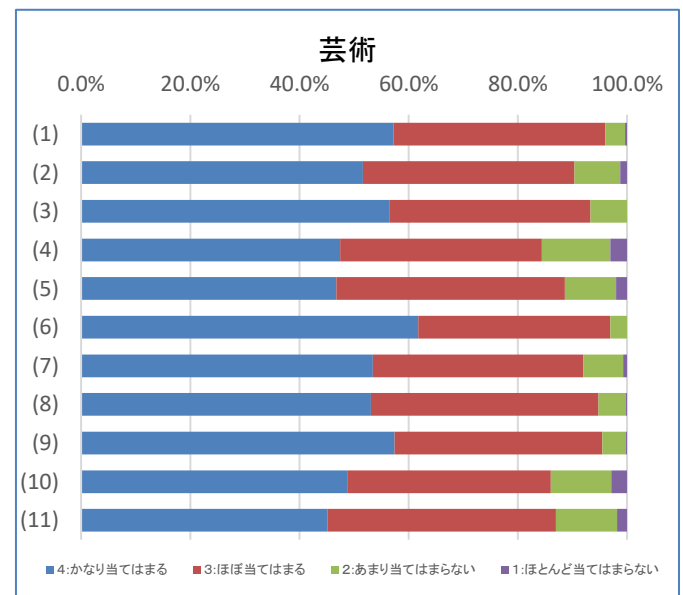
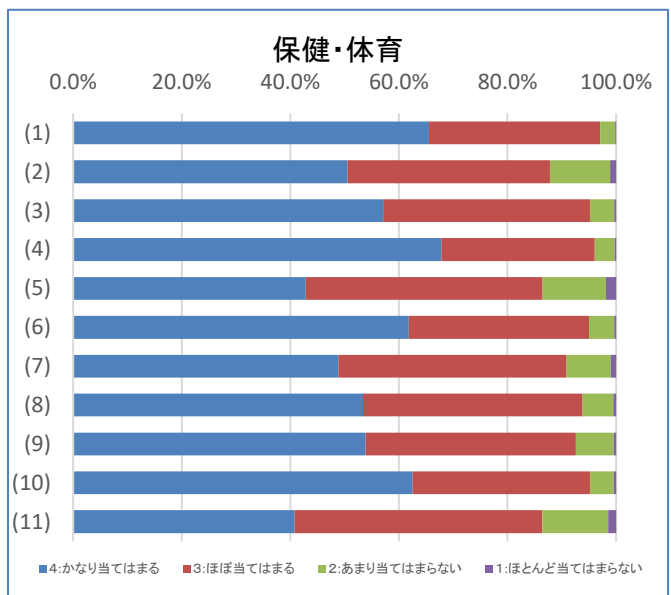
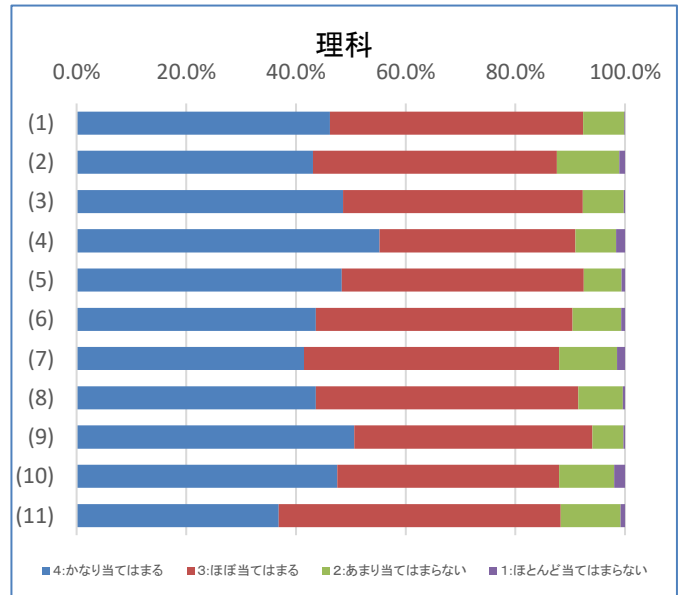
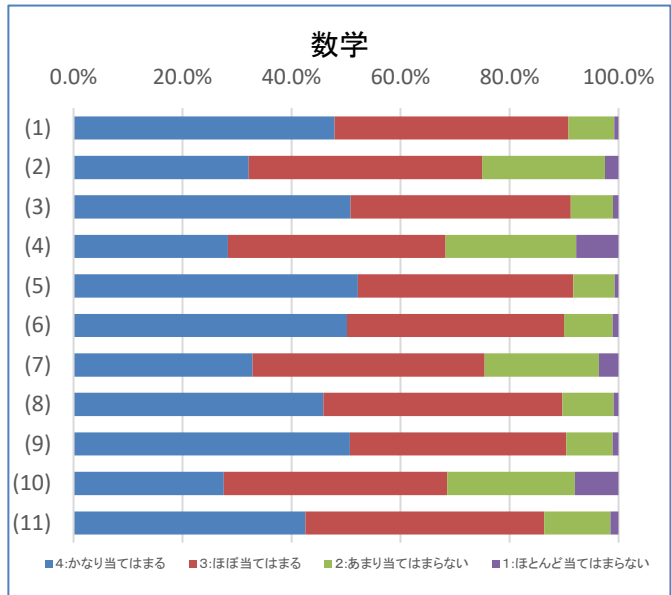
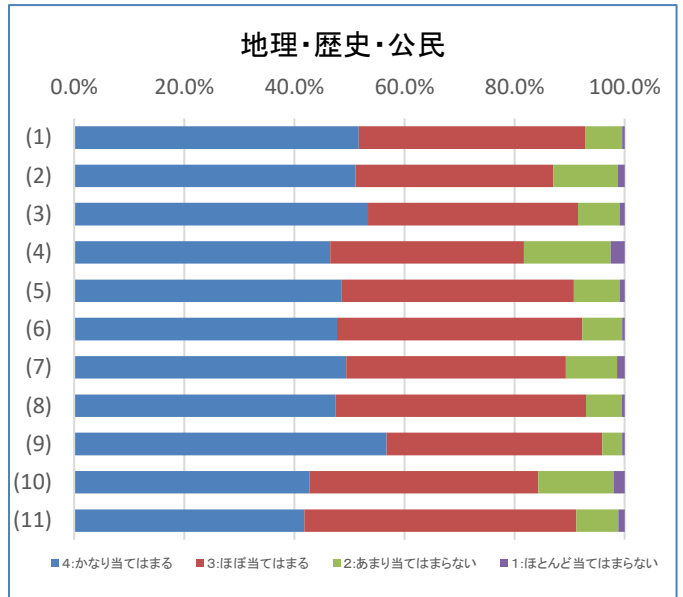
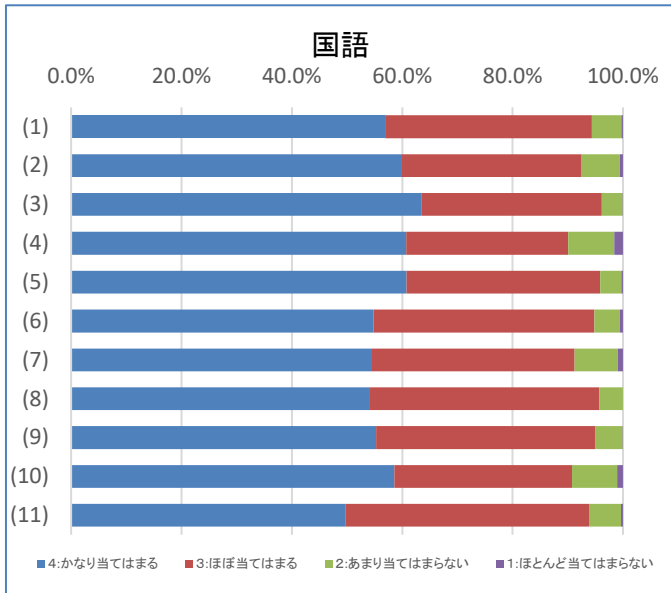


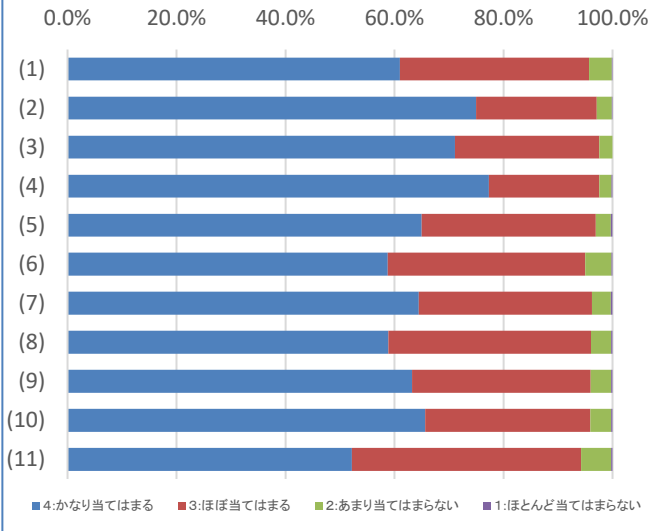
令和2年度 第2回「生徒による授業評価」集計結果一覧 (令和2年12月1日～21日実施)

大項目	小項目	
授業の在り方について	(1)	毎時間の授業や単元(内容のまとめ)のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある。
	(2)	単元(内容のまとめ)の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。
	(3)	単元(内容のまとめ)の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある。
	(4)	協働的に課題を解決する場面がある。
	(5)	論理的に思考し、表現する学習活動がある。
学習の状況について	(6)	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。
	(7)	他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた。
	(8)	授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた。
	(9)	授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた。
	(10)	協働的に課題解決に取り組むことができた。
	(11)	論理的に思考し、表現することができた。
評価について	各授業内にて記名式で行い、「4:かなり当てはまる、3:ほぼ当てはまる、2:あまり当てはまらない、1:ほとんど当てはまらない」の4段階で評価する。	

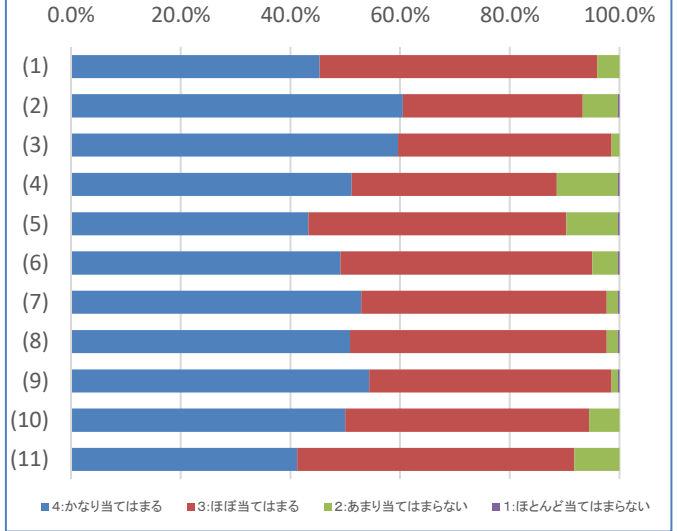




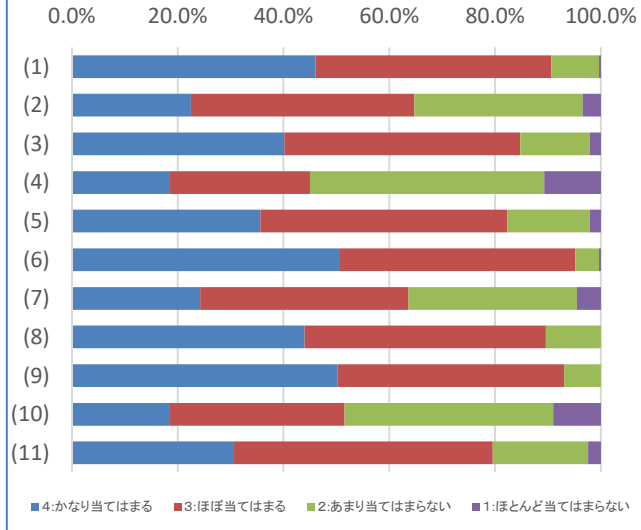
外国語・国際



家庭・看護



情報



令和2年度 第2回「生徒による授業評価」教科検討事項

教科	授業評価分析結果・課題点	授業改善に向けての具体的取組み	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高い。 ● 「協働的に課題を解決する場面がある」および「協働的に課題に取り組むことができた」の項目の評価が他の項目に比べてやや低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見交換を行い、教授法を教科で共有していく。 ● コロナ禍でグループワークを行う難しさがあるが、書面での意見交換等、適切に機会を設定していく。 	
公歴地理	<ul style="list-style-type: none"> ● 前期同様、満足度は概ね高い。 ● 「協働的に課題を解決する場面がある」および「協働的に課題に取り組むことができた」の項目の評価が他の項目に比べてやや低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● chromebookやパワーポイントなどのICTを活用した授業は、前期同様満足度が高かった。引き続き、教授法を教科で共有していく。 ● コロナ禍でグループワークを行う難しさがあるが、ICT機器を活用するなど、新たな「協働的な課題の取り組み方」を教科会で検討する。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高い。 ● 協働して問題解決を行う場面の要望が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業担当者同士で情報交換を行い、効果的な指導方法を共有する。 ● 単元の特性等を考慮して、話し合いの場などを作るよう検討する。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高く、協働的に課題に取り組む場面が多いことがわかる。 ● 比較的に、他者との意見交流の視点の満足度が低いことがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各科目で行っている協働的な活動の視点を共有し、より生徒主体な授業展開にする。 ● 協働的な場面の設定はできていることがわかるので、そこで意見の共有ができるような声かけ等の支援を行う。 	
体保育健	<ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高い。 ● 「論理的思考」が含まれる項目の満足度が他の項目に比べ低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● これからも感染症対策で制限のかかる授業になると考えられるが、その中でも授業をよりよくしていくために、引き続き保健体育科で意見交換等を行いながら授業改善に努める。 ● 「論理的思考」を行えるよう、生徒が自ら「問い」を立て、「答え」を導き出せるよう生徒に声掛けをしたり、考える機会を設けることができるよう努める。 	
芸術	音楽・演劇	<ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、生徒が主体的に取り組める学習活動について研究を行う。 ● 授業公開を常に行い、意見交換等を行う。(演劇)
	美術・書道	<ul style="list-style-type: none"> ● 前期同様、概ね満足度は高いが、さらなる改善のため、課題内容を精査する必要がある。 ● (4)の「協働的に、課題を解決する場面がある」の数値が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1年間の取り組みを振り返り、継続的に取り組むものと、新しく取り入れるものとのバランスを考え、課題内容を見直す。 ● 今年度できなかったグループワークを、感染防止に配慮しながら積極的に取り入れていく。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高い。 ● 毎授業の授業や単元のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習の後に学習したことを振り返ったりする機会が少ない科目がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 科目内や科目間で授業公開を常に行い、ねらいを示す機会や振り返りをする機会を毎授業で設ける。 	
看家庭	<ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高い。 ● 「協働的に課題を解決する場面がある」および「協働的に課題に取り組むことができた」の項目の評価が他の項目に比べてやや低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科・科目内で意見交換を行い、問題点や今後の課題を教科で共有し、授業改善に努める。 ● グループワークを感染防止に配慮しながら適切に取り入れる。 	
情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 満足度は概ね高く4と3の評価の合計が80%～90%近くになっている。 ● コロナ期間の関係もあり協働的な活動を複数回行うことができなかったため(2)(4)(7)(10)の結果が低かった。 ● (6)の実感については3、4の合計が95%を超えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後も最新の情報を取り入れてながら、授業改善に努めていく。 ● 後期の後半の授業ではグループワークやプレゼンテーションの相互評価等を計画しているので改善される見込みである。 ● 4を選ぶ生徒がもっと増えるようにサポートしていくとともに、1と2を選んだ生徒もついていけるような授業計画を行う。 	